

簡易電波暗室を投入

マイクロニクス 工期2—3日

【立川】マイクロニクス（東京都八王子市、田仲克彰社長）

は、2—3日の工期で安価に電波遮蔽空間を作れる簡易電波暗室「MY5700シリーズII写真」を発売した。現地で組み立てるテント型のため、間口の狭い室内にも設置で

きる。無線機器メーカ

の開発部門や大学、

システム構築業者（S

Ier）などに提案す

る。消費税抜き価格

は498万円から。同

シリーズで初年度10億

の販売を目指す。

アルミニウムフレ

ムとアルミ板の構造体

を二重生地のリールド

テントで覆った。内部

にピラミッド型の耐燃

性ウレタン電波吸収体

を固定して使う。電波

遮蔽性能は28ギガヘル

（ギガは10億）で70デ

シ以上。簡易電磁環境適

合性（EMC）試験や

OTA（オーバー・ジ

・エア）試験、電波法

対策などに使用でき

る。

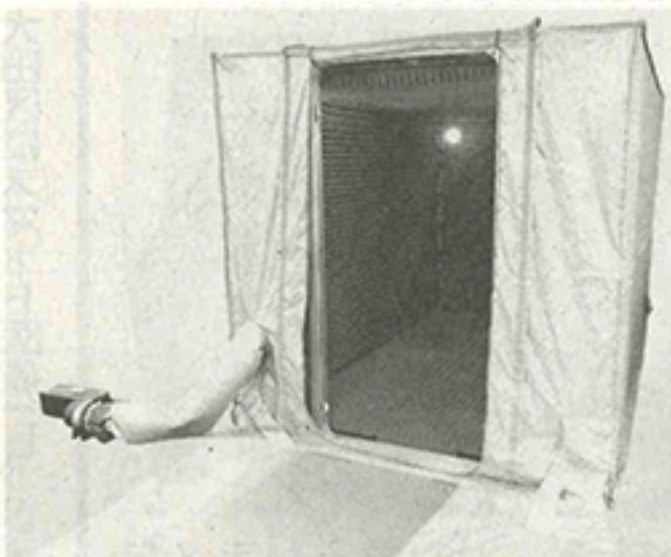
標準品は出入り口用

扉、発光ダイオード

（LED）クリップラ

イト、ケーブル通線

口、吸排気口・送風機



などを備え、内部での作業に対応。外形サイズは最小タイプで、幅・高さ・奥行きとも2メートル。標準品として8サイズを用意した。

サイズ変更

やコネクタパネル設置といったカスタマイ

ズ（個別対応）が可

能。電波吸収体を敷設

しない状態での販売に

も応じる。